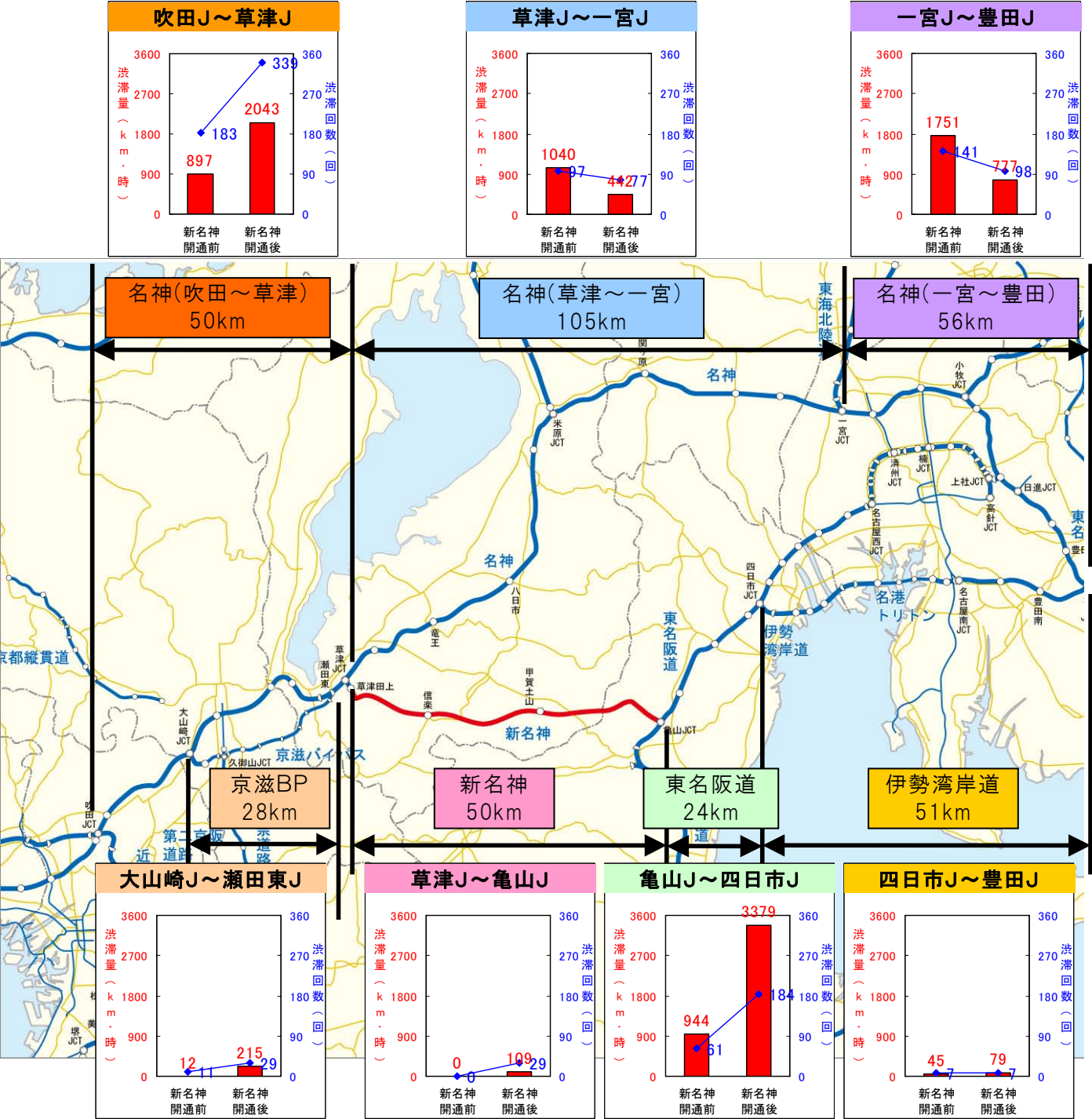


3. 高速道路の渋滞状況の変化

- ・名神高速道路の一宮JCT～草津JCTの渋滞量、渋滞回数は、昨年と比べそれぞれ約6割、約2割減少しました。また、東名高速道路の豊田JCT～一宮JCTでは、昨年と比べそれぞれ約6割、約3割減少しました。
- ・一方、東名阪自動車道の四日市JCT～亀山JCTの渋滞量および渋滞回数は、昨年と比べそれぞれ約3.6倍、約3.0倍となりました。また、名神高速道路の草津JCT～吹田JCTの渋滞量、渋滞回数は、昨年に比べそれぞれ約2.3倍、約1.9倍となりました。



※新名神開通前:平成19年2月25日(日)～5月13日(日)日平均交通量・渋滞データを記載
新名神開通後:平成20年2月24日(日)～5月11日(日)日平均交通量・渋滞データを記載
※渋滞量:渋滞の規模を示す指標([最大渋滞長]×[渋滞時間])/2